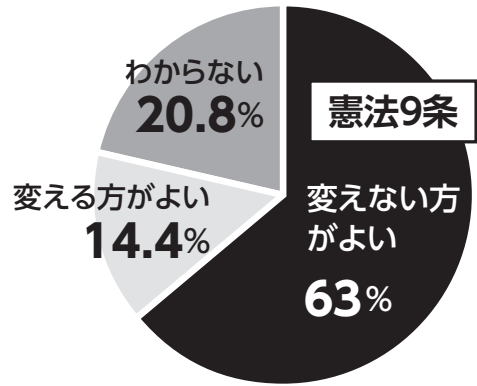


9条まもり 生かす日本を

日本共産党



※日本高等学校教職員組合(日高教)調査

日本が起こした侵略戦争によってアジアで2000万人、日本で310万人をこえる尊い命が奪われました。戦後の日本は、この痛苦の体験にたって、「二度と戦争はしない」「国民が主人公」を原則とした新しい日本国憲法のもとで国づくりをスタートさせました。いま、その憲法を変えようという動きが強まっています。とんでもありません。国民の多数は憲法9条を変えることに反対です。

侵略戦争に 命がけで反対した党

日本共産党は、戦前から命がけで侵略戦争に反対した政党として、憲法をまもり生かす政治を実現するために全力でがんばります。

自民 「9条を書き変えるべき」(安倍首相)

維新の会 「軍事国家になるべき」(石原共同代表)

「国防軍を創設」など、戦争の時代に日本を逆戻りさせるような発言があいついでいます。改憲勢力は、9条改定にねらいをさだめ、まず96条(改憲手続き)から変えようとしています。「戦争をしない」と世界に公約した9条をまもってこそ、日本はアジア

と世界で平和に貢献し、信頼を得ることができます。

靖国問題 侵略戦争の無反省は 世界で孤立

「歴史を忘却した時代錯誤的な行為」
「深い憂慮と遺憾」(韓国外務省報道官)
「日本の不要な国粹主義」(米・ニューヨーク
タイムズ紙電子版)

「慰安婦」必要だった 橋下^{維新代表}暴言

撤回し謝罪を

日本維新の会の橋下徹代表(大阪市長)が、旧日本軍「慰安婦」問題について「慰安婦制度が必要なのは誰だってわかる」と、慰安婦制度を正当化し、女性の人権と人の尊厳を踏みにじる暴言を吐いたことに撤回と謝罪を求める声広がっています。



公人の資格ない

日本共産党の志位和夫委員長は次のように述べました。「(発言は)女性の尊厳に対する重大な冒涇^{ぼうとく}。女性を『戦争の道具』とみなす発言で、最悪の形で尊厳を侵害し、男性の尊厳をも侵害

する発言です。彼の人間観を自ら語ったもので、こういう立場にたつ人物は市長の職と両立しない。言い訳してすむ問題ではない」

日本共産党

安倍首相
批判も否定もせず



安倍首相は橋下氏の暴言について「立場が異なる」というだけで批判も否定もしていません。首相の立場が厳しく問われます。

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2013年5月号外 No.4

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。

参院選挙
制度解説
(記載例)

比例代表は「日本共産党」と政党名で

参議院比例代表は、「全国ひとつ」の選挙区です。政党名でも個人名でも投票できます。